

関西経済研究

担当者 石川 雄一

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

近代においては、政治の東京に対して経済の大阪といわれたように、関西経済は大きな地位を占めていました。またその中心都市である大阪は「東洋のマンチェスター」とも称されており日本の産業革命発祥の地とも謳われました。

現在、東京一極集中が進展するなか関西経済も大きく変貌しております。関西経済をマクロスケールの視点とミクロスケールの視点にわけて、関西経済の特色や変遷、今後の課題を講義します。

●講義の到達目標

- ① 関西経済の地理的特色を理解する
- ② 関西経済の歴史・文化的背景を理解する
- ③ 関西経済の現状を理解する
- ④ 今後の関西経済について予見する知識を蓄積する。

●講義計画

- 第1回：関西圏の地域構造
第2回：データマップからみた関西圏の経済地域構造Ⅰ
第3回：データマップからみた関西圏の経済地域構造Ⅱ
第4回：京阪神大都市圏の構造変化
(第1回レポート課題)
第5回：近代における産業革命の進展と都市化
第6回：郊外鉄道の発達と郊外化の進展
第7回：高度経済成長期の関西経済
第8回：東京一極集中の進展と関西経済
第9回：関西圏の人口変化と京阪神大都市圏
(第2回レポート課題)
第10回：関西の基幹産業の立地と特色
第11回：関西の地場産業の立地と特色
第12回：ニュータウン・工業団地の開発
第13回：関西圏の観光産業とインバウンド観光
第14回：これからの関西経済－アジア経済とのつながり
(第3回レポート課題)
第15回：まとめ

●成績評価基準と方法

授業への参加度とレポートの内容により総合的に評価します。

評価の割合は、

授業への参加度：30%

(特に最終回では、講義の到達目標の④について質問し、評価します。)

レポートの内容：70%

(3回予定のレポート提出では、講義の到達目標の①から③の達成度を評価します。)

レポートの提出回数は3回、提出予定時期は上記の講義計画に記載のとおり。レポートの課題は、講義内容についての①感想、②興味をもったこと、③意見と質問です。第3回のレポートは、受講生が調べたことも含めます。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕 使用しない。資料を配布する。

〔参考文献〕 一般財団法人 アジア太平洋研究所編『アジア太平洋と関西 関西経済白書 2018』2018年(2,500円)

●受講上の留意点

テキストは用いませんが、授業開始前にあらかじめ資料を配布します。各自予習を心がけてください。また時折、あらかじめ配布した資料をもとに授業時にプレゼンテーションをしてもらいます。

また少人数なので、欠席の際は事前にメール等で連絡してください。